

お知らせ

本教会へ初めて来られた方々を
心から歓迎いたします。
「毎月最初の主日には聖餐式を行います。」

教会の働き

- 9月22日(月)～27日(土)、柳牧師夫妻が韓国教団の総会に行って来ました。皆さまのお祈りに感謝します。
- 11月23日(日)本場キムチバザー&コンサートが行われます。主日礼拝は チョン・トンオク牧師 が御言葉を取り次いでくださいます。礼拝後 午後2時から バザーとコンサートを行います。バザーの準備とコンサートのために、祈りをもって心を合わせましょう。皆さまのお祈りとご協力をよろしくお願いいたします。
- 三分ブリッジ伝道法を共に学びましょう！
教会では、誰でも簡単に福音を伝えることができる「三分ブリッジ伝道法」を、教会全体で覚えて実践していくことを目指しています。

聖徒の為に祈りましょう。

- ・コロナとインフルエンザから守られますように。
- ・施設に入られている方々の生活が守られる為に。
- ・YouTube ライブで、礼拝している教会と聖徒の皆さんの為に。(大阪ホームチャーチ、相模原の佐々木こずえ執事の家庭など)



ぶどうの木のたとえ

「真のぶどうの木であるイエス・キリスト」

ヨハネの福音書 15章1～12節

- 1 わたしはまことのぶどうの木、わたしの父は農夫です。
- 2 わたしの枝で実を結ばないものはすべて、父がそれを取り除き、実を結ぶものはすべて、もっと多く実を結ぶように、刈り込みをなさいます。4 わたしにとどまりなさい。わたしもあなたがたの中にとどまります。枝がぶどうの木にとどまっていなければ、自分では実を結ぶことができないのと同じように、あなたがたもわたしにとどまっていなければ、実を結ぶことはできません。…12 わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うこと、これがわたしの戒めです。

来週礼拝奉仕者

主日礼拝 韓芽唯(賛美リーダー) 北原明子(祈祷)

夕方賛美礼拝 柳澄香(賛美リーダー) 平澤寿子(祈祷)

水曜礼拝 北原孝子(司会) 柳澄香(祈祷)

礼拝時間案内

主日礼拝	AM 11:00
夕方賛美礼拝	PM 2:30
教会学校(小学生まで)	AM 9:50～10:30
水曜礼拝	PM 7:00
祈祷会・火・木曜日	PM 8:30～9:30
土曜日	PM 8:00～9:00

週報 2025-39号

2025.9.28

神の国とその義を 第一に求める

宗教法人 イエス・キリスト

飯田福音教会



395-0807 飯田市鼎切石 3883-4

TEL 0265-56-8286

www.iidahc.com

牧 師 柳 承吉(ヤナギ ショウキチ)

副牧師 柳 智愛(ヤナギ チエ)

主日礼拝

AM 11:00~

	賛美リード	柳澄香
信仰告白	(使徒信条)	
代表祈禱	鈴木真由美	
特別賛美	インマヌエル聖歌隊 ハッピーチーム	
聖書箇所	ヨハネの福音書 15:1-12 (ぶどうの木のたとえ 2)	
メッセージ	柳承吉牧師	
賛美	神の家族	
祝禱	柳承吉牧師	

夕方賛美礼拝

PM 2:30~

	賛美リード	柳澄香
代表祈祷	高木はつえ	
聖書箇所	ルカの福音書 13:6-9	
メッセージ	(実を結ぶ秋のために 3) 柳 承吉牧師	
主の祈り		

水曜礼拝

PM 7:00~

司 会	高木はつえ
代表祈禱	北原孝子
聖書箇所	ローマ書 7:12-13
メッセージ	柳承吉
ローマ書 7 章の概略(5)	
主の祈り	

今週の御言葉

ぶどうの木のたとえ

「農夫である父なる神」
ヨハネの福音書 15 章 1~12 節

イエスは言われました。「わたしの父は農夫です」(ヨハネ 15:1)。ここでイエスは「神」と言わず「わたしの父」と呼びました。イエスがまことの神の子であることを強調しているのです。父なる神は農夫であり、ぶどうの木を管理し育てるお方です。農夫の手入れなしにぶどうの木は良い実を結ぶことができません。よい枝を育て、悪い枝を取り除くのは農夫の役割です。

イスラエルもぶどうの木にたとえられました。しかし彼らは神の契約を捨て、異国の神々に仕え、富を愛し、形式的に礼拝する民となっていました。神は彼らを厳しく戒められました(エレミヤ 2:21、ホセア 10:1)。

私たちもまた、成功し、栄え、人々から認められるときこそ謙虚でなければなりません。自分の努力や才能の背後にある「源」を忘れてはならないのです。すべてのものは神から与えられた恵みだからです。

詩篇 80 篇には、イスラエルをエジプトから導き出し、カナンに植えられたぶどうの木としての民が歌われています。しかし、神はその垣を取り除き、獣に荒らされるようにされました。これは罪に対する神のさばきでした。だからこそ民は祈ります。「万軍の神よ、どうか私たちを立ち返らせてください。あなたの御顔の光を輝かせてください。そうすれば、私たちは救われます」(詩篇 80:19)。

答えはただ一つです。農夫である神の手に私たちの人生がかかっているのです。イエスをご自分を「まことのぶ

どうの木」と言われました。私たちは枝です。枝が幹につながっていなければ枯れてしまいます。「わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないのです」(ヨハネ 15:5)。枝が幹にとどまるとは、御言葉にとどまることです。「あなたがたがわたしにとどまり、わたしの言葉があなたがたにとどまるなら、何でも望むものを求めなさい。そうすれば、それはかなえられます」(15:7)。これは出世や富の約束ではありません。

御言葉にとどまる者が結ぶ「実」とは、15:8 神に栄光を帰すこと。15:9 キリストの愛にとどまること。15:10 御言葉を守り従うこと。15:11 キリストの喜びに満ちること。15:12 互いに愛し合うこと。さらに「友のために自分のいのちを捨てる」ほどの愛(15:13)が最高の実です。そのように歩む者をイエスは「わたしの友」と呼んでくださいます(15:14)。

やがて弟子たちは迫害と憎しみを受けました。しかし彼らは聖霊を受け、キリストの証人として生きました。それこそが「豊かな実を結ぶ人生」だったのです。

ぶどうの木のたとえは、私たちに強い招きを与えています。「まことのぶどうの木であるキリストにとどまり、農夫である父なる神の手に自分の人生をゆだねなさい。そして御言葉に従い、愛と喜びの実を結ぶ者となりなさい。」二千年の教会史においても、多くの信仰者たちがその実を残しました。私たちもまた同じ招きを受けています。どうか皆さんの人生が、まことのぶどうの木につながり、豊かな実を結ぶ祝福に満ちますように。

主の御言葉の中で勝利の日々を歩むことができますように。アーメン。